

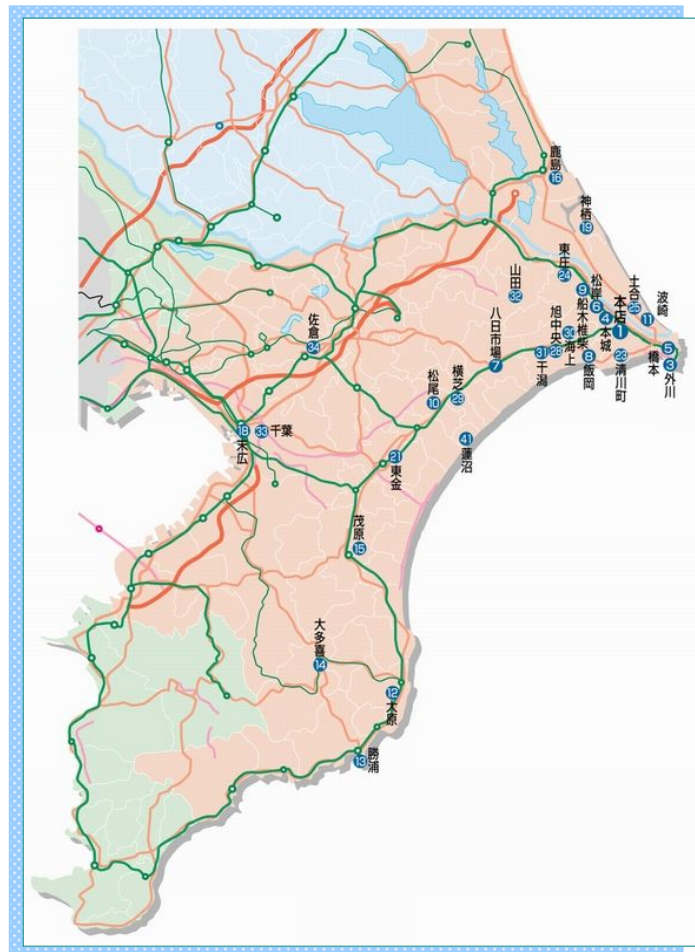
2013

2月号

ちょうしんきん

景況レポート

Economic Report of Sales Territory



1. 概況

全体の景況感（全29店舗）

	好転	不変	悪化
前月と比較して	0	29	0
今後3か月程度の見通し	0	28	1

【漁業】

銚子港の平成25年1月の総水揚数量は13,668トンで前年同月比▲567トンの減少となった。総水揚金額は1,639百万円で前年同月比19百万円の増加となった。鯛・鰹・鮪等の水揚げが増えたが鯖・底曳等が前年同月比水揚数量・金額ともに減少した。

【農業】

銚子地区では、12月からキャベツ・大根の本格的出荷が始まったが、1月は低温の影響で育成も遅れ、品薄状態が続いており今後も出荷量は少ない予定。キャベツは冬・春系産地の出荷が続いているが、Lサイズ（10Kg）1,300円前後で推移、大根も相場はLサイズ1,000円程度と前年を上回る価格が続くが、出荷量は期待できない。

【商業】

小売業ではイベント開催等で好調な先はあるが、給与停滞に伴う個人消費への影響が見受けられ、大手チェーン店やネット販売との顧客争奪が激しさを増し、回復感は低調に推移している。

【建設業】

平成24年12月の公共機関からの受注工事（1件500万円以上の工事）は、千葉県で24,577百万円（前年同月比▲14,901百万円）、茨城県は18,021百万円（前年同月比▲4,225百万円）となった。また前月（11月）と対比して千葉県は+2,772百万円の増加、茨城県は▲2,726百万円の減少となった。

【観光業】

観光業は、年末・年始の休みが永かったことから、養老溪谷などは例年を越える集客が続き、稼働状況が好転、年末・年始の宿泊客は各施設ともほぼ満室となった。

遊漁船関係はヒラメ・ハナダイ等の釣果が好調であり、遠方からの利用客もあったが、天候不順による出漁回数の減少があり客足は鈍かった。

【産業誘致】

茂原市 製薬企業が新製剤工場を建設しており、本年3月に稼働予定。

香取市 ソニー跡地の事業予定者が福島で被災した企業など3社に決まり、雇用への期待が高まっている。

<業種別天気図>

全 体	漁 業	水産加工業	農 業	商 業
建 設 業	観 光 業	不 動 産 業	養 豚 業	自 動 車

（前月と比較した当月の各業種の景況感を天気図で表示してみました。）



2. 主要業種別動向

■ 漁業・水産加工業

銚子港の平成25年1月の総水揚数量は13,668トンで前年同月比▲567トンの減少となった。総水揚金額は1,639百万円で前年同月比19百万円の増加となった。

鰯・鯉・鮪等の水揚げが増えたが鯖・底曳等が前年同月比水揚数量・金額ともに減少した。また、前月比については総水揚数量、水揚金額とも減少した。

波崎港では、稼働日数は7日で、1月の総水揚数量3,326トン、総水揚金額327百万円、対前月比水揚数量は▲2,244トン減少、水揚金額も▲201百万円の減少となった。前年同月比では、水揚数量は▲147トン減少、水揚金額は86百万円の増加となった。近海での鯖・いなだ中心の操業となり、時化や正月休みが影響した。

勝浦港では、総水揚数量は428トンで総水揚金額202百万円となった。前年同月比では、総水揚数量で▲276トン減少、総水揚金額も▲90百万円減少した。前月対比でも、鮪類を主に総水揚数量で▲119トン、総水揚金額も▲114百万円減少した。

大原では伊勢エビが不漁で、低調に推移している。

水産加工業では、前浜で品質のよい鯖が揚がったことから、比較的安価に仕入れできたが、チリ銀鮭の魚価低迷や塩鯖の消費低迷から市況は低調に推移している。

また、昨年のノルウェー鯖の在庫が残っており、原料調達は様子見の業者も多い。

銚子魚市場水揚高

銚子市漁業協同組合調べ

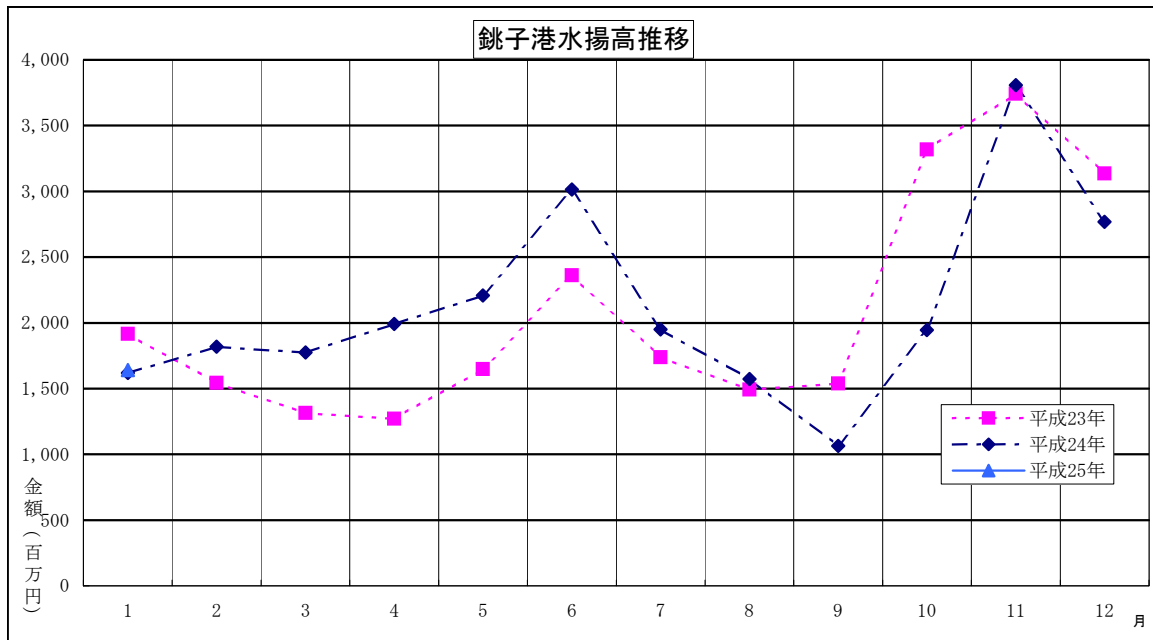
種類	区分	数量（トン）			金額（千円）		
		H25年1月	H24年1月	前年同月比	H25年1月	H24年1月	前年同月比
鰯		2,055	738	1,317	96,213	29,099	67,114
鯖		7,623	11,593	▲ 3,970	787,430	828,876	▲ 41,446
鯉		785	321	464	13,359	16,532	▲ 3,173
鰹・鮪		2,849	1,102	1,747	557,169	481,496	75,673
(内鰹一本釣)		0	0	0	0	0	0
秋刀魚		0	0	0	0	0	0
底曳		223	323	▲ 100	101,337	137,365	▲ 36,028
その他		135	158	▲ 23	84,394	126,575	▲ 42,181
合計		13,668	14,235	▲ 567	1,639,902	1,619,943	19,959

前月比	数量	53.88%
	金額	59.25%
前年同月比	数量	96.02%
	金額	101.23%

水揚日数



	H25年1月	H24年12月	H24年1月
鰯	8日	6日	5日
鯖	6日	10日	8日
鯉	6日	6日	3日
鰹・鮪	21日	21日	23日
(内鰹一本釣)	0日	0日	0日
秋刀魚	0日	15日	0日
底曳	20日	22日	18日
その他	22日	24日	23日



■ 農 業

銚子地区では、12月からキャベツ・大根の本格的出荷が始まったが、1月は低温の影響で育成も遅れ、品薄状態が続いており今後も出荷量は少ない予定。キャベツは冬・春系産地の出荷が続いているが、Lサイズ（10Kg）1,300円前後で推移、大根も相場はLサイズ1,000円程度と前年を上回る価格が続くが、出荷量は期待できない。

波崎地区のピーマンは、前月、前年同月比高値で取引された。1月下旬は1袋120円程度となった。気温が低かったことによる生育不良もあり、出荷量も少なく、ハウスでの重油暖房の経費が重荷となっている。

旭地区のキュウリ・トマトの価格相場はキュウリが1本（等級 秀）10円～35円程度、トマトは1箱（4Kg）500円～1,800円程度で取引された。前月と比較してキュウリは5円程度値下がりし、トマトは変わらず取引された。

海上地区のマッシュルームは、1パック（100g）100円前後と前年同月と同水準で取引されている。

飯岡地区のレタスは（1箱15個）2,500円と例年にない高値がついている。パセリ、春菊も、前年同月比高値で推移した。

横芝光町のブランドねぎ「ひかりねぎ」が最盛期に入ったが、（5.5Kg, 1箱45本）2,600円をピークに、前年を上回る価格で取引されている。

■ 商 業

個人消費については、気温の低下による冬物商品の好調や、ギフト関連の動きが堅調で、観光等が盛況な地域もあることから、小売や観光関連で好調な先が見受けられる。

また、エコ自動車の購入支援策が継続していることから、軽自動車の販売は好調である。さらに、住宅関連では太陽光発電の固定価格買い取り制度の関心が高まったことから、太陽光発電の設置を機会にエコライフにつながる消費が顕在化してきている。

小売業ではイベント開催等で好調な先はあるが、給与停滞に伴う個人消費への影響が見受けられ、大手チェーン店やネット販売間の顧客争奪が激しさを増し、依然回復感も低調に推移している。中小の小売店・飲食店では消費者の節約志向や大型店等との競合から、厳しい環境が続いている。

石油卸業者は、冬季シーズンの農業用燃料の需要が続いている。

海外向け造園業者は、中国向けの輸出が停滞したが、経由地を変えて輸出している。

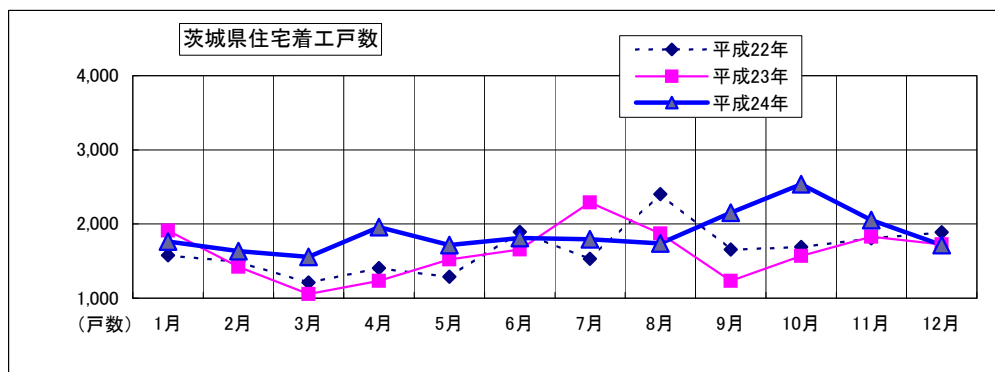
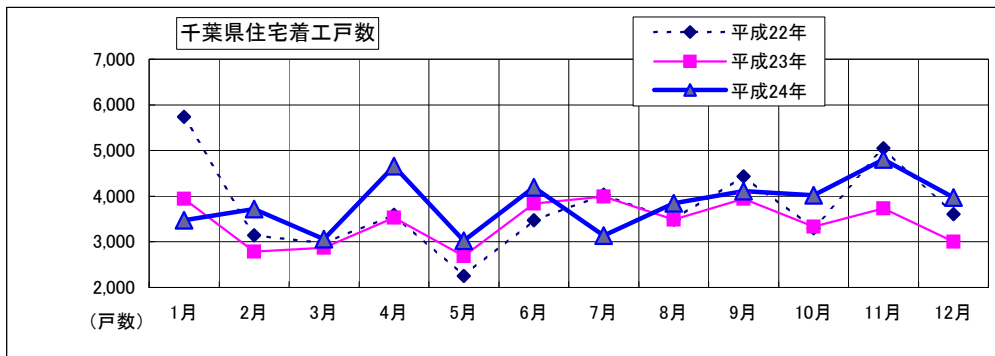
大型店同士の競争が激化しており、中小小売店にも及ぶことが懸念される。

情報アドバイス
銚子商工会議所

■ 建設業

千葉県・茨城県の住宅着工戸数は以下のとおり。

	前月戸数	前々月戸数	増減
千葉県	3,972	4,804	▲ 832
茨城県	1,715	2,053	▲ 338



平成24年12月の公共機関からの受注工事(1件500万円以上の工事)は、千葉県で24,577百万円(前年同月比▲14,901百万円)、茨城県は18,021百万円(前年同月比▲4,225百万円)となった。また前月(11月)と対比して千葉県は+2,772百万円の増加、茨城県は▲2,726百万円の減少となった。

公共機関からの受注工事は、前年同月比では千葉県・茨城県ともに受注が減少し、前月比では千葉県は受注が増加し・茨城県は受注が減少した。千葉県では独立行政法人からの受注が大きく増加した。

平成24年12月の住宅着工戸数は、千葉県では3,972戸と前年同月比+32.40%(972戸)の増加、茨城県では、1,715戸で同▲0.58%(▲10戸)減少した。なお、前月(11月)対比については、千葉県で▲832戸の減少、茨城県でも▲338戸の減少となった。

国土交通省統計情報より

■ 観光業

観光業は、年末・年始の休みが永かったことから、養老溪谷などは例年を越える集客が続き、稼働状況が好転、年末・年始の宿泊客は各施設ともほぼ満室となった。

遊漁船関係はヒラメ・ハナダイ等の釣果が好調であり、遠方からの利用客もあったが、天候不順による出漁回数減少があり客足は鈍かった。

今後は観光オフシーズンとなるため各地のイベント需要に期待している。

2月は勝浦地区で「勝浦ビッグひな祭り」、銚子では「SLまつり」飯岡地区では「潮騒マラソン大会」などのイベントが企画されている。

遊漁船では、銚子地区はハナダイ、いすみ地区はショウサイふぐ、飯岡地区はヤリイカが好調で、今後は天候の好転に期待している。

神栖市波崎地区では、年末恒例のサッカー大会が終了し、スポーツ民宿は落ち着いている。

情報アドバイス
銚子商工会議所

■ 不動産業

茨城県神栖市では、土合地区・知手地区等で複数の分譲計画が進んでいる。合わせて、大手企業の社宅跡地で分譲が計画されており、供給過剰が懸念されている。

千葉市や旭市で複数の分譲案件や計画が進んでおり、消費税増税前の駆け込み需要を見込んだ動きと見られる。

■ 養豚業・畜産業

平成25年1月の東京市場での鶏卵と豚枝肉の卸売価格相場は、鶏卵（Mサイズ）の卸売価格は平均171円/kgで前月比▲59円/kg値下がりした。前年同月比については+22円/kg値を上げた。豚枝肉の卸売価格相場は、402円/kgで前月比▲26円/kg値下がりした。前年同月比では▲29円/kg値下がりした。飼料価格が高騰しており、厳しい状況が続く。

■ 自動車ディーラー

平成25年1月の千葉県新車登録台数は10,699台で、前年同月対比81.32%（▲2,458台）の減少となり、5ヶ月連続で前年同月台数を下回った。また、前月対比では105.97%（+603台）の増加となった。

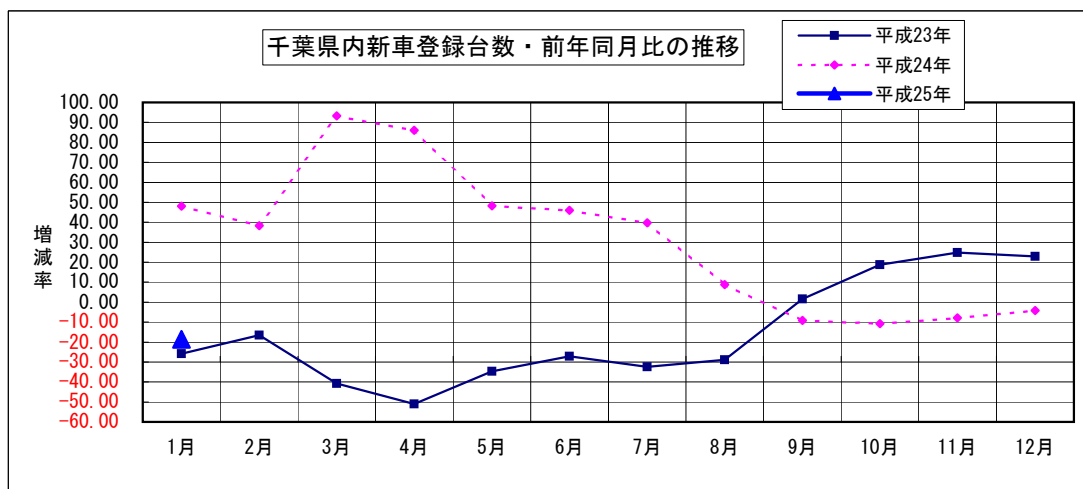
車種市場別の登録台数状況を見ると、乗用車市場全体では9,465台の登録台数で前年同月対比79.50%（▲2,441台）となった。また、貨物車市場は1,001台の登録台数で前年同月対比104.16%（+40台）となった。

占拠率はトヨタが44.0%の占拠率を確保、占拠率順位2位は、6ヶ月連続で日産（19.7%）となり、占拠率順位3位はホンダ（12.2%）となった。

千葉県内新車登録台数状況（軽自動車を除く）

		当 月	前 月	前 月 比	前 年 同 月	前 年 比
乗 用	普 通	4,670	4,407	105.97%	5,898	79.18%
	小 型	4,795	4,261	112.53%	6,008	79.81%
	小 計	9,465	8,668	109.19%	11,906	79.50%
貨 物	普 通	289	522	55.36%	294	98.30%
	小 型	712	591	120.47%	667	106.75%
	小 計	1,001	1,113	89.94%	961	104.16%
特 殊 等	特 殊	198	269	73.61%	261	75.86%
	バ ス	35	46	76.09%	29	120.69%
	小 計	233	315	73.97%	290	80.34%
総 合 計		10,699	10,096	105.97%	13,157	81.32%

社)日本自動車販売協会連合会 千葉県支部調べ



情報アドバイス
千葉トヨタ自動車(株)

3. その他の動向

求人

有効求人倍率

(単位：倍、増減はポイント)

	前月	前々月	増減	前年同月	増減
銚子公共職業安定所管内	0.74	0.75	▲ 0.01	0.73	0.01
茂原公共職業安定所管内	0.45	0.48	▲ 0.03	0.57	▲ 0.12
いすみ公共職業安定所管内	0.46	0.54	▲ 0.08	0.70	▲ 0.24
成田公共職業安定所管内	0.91	0.83	0.08	0.71	0.20
佐原公共職業安定所管内	0.71	0.65	0.06	0.63	0.08
千葉県	0.73	0.71	0.02	0.61	0.12
常陸鹿嶋公共職業安定所管内	0.84	0.83	0.01	0.91	▲ 0.07
茨城県	0.78	0.77	0.01	0.73	0.05

有効求人倍率＝有効求人数÷有効求職者数

ハローワーク銚子/茂原/いすみ/成田/佐原/常陸鹿嶋調べ

電力

電力使用量

(単位：千kwh)

	前月	前年同月	増減
東京電力成田支社管内総電力使用量	342,734	361,678	▲ 18,944

東京電力㈱成田支社調べ

倒産

平成25年(2013年)1月の負債総額1000万円以上を有する千葉県内企業倒産件数は28件で、前月比で5件の増加となった。また、前年同月比では2件の減少となった。

負債総額は60億5100万円で、前月比28億5200万円の増加となり前年同月比でも18億8700万円の増加となった。1月は負債総額10億円以上の大型倒産が2件発生したのと同時に、中小・零細企業の小口倒産も散発した。

千葉県内の震災関連倒産は、1月は発生せず、平成24年7月以来7ヶ月ぶりとなった。

企業倒産を抑制させた「金融円滑化法」は平成25年3月に終了するが、金融庁は金融機関に対して4月以降も柔軟に対応するよう求めており、支援体制が急変する可能性は少ないものと見られるが、今後の出口戦略が注視される。また、倒産件数は小康状態にあるが、県内企業の業績そのものを向上させる明るい材料はまだ乏しく、経営体力を消耗している企業も見受けられ、企業倒産は経済が活発化する時期に増勢に転じる可能性が高い。

倒産会社の従業員数は245名で前月より79名増加した。

産業別では「建設業」が10件(構成比35.7%)を占めた。負債総額では「建設業」が24億5800万円(構成比40.6%)と多く、次いで「製造業」が23億円(構成比38.0%)となった。

原因別では、「業績不振」によるものが21件(構成比75.0%)と多く、次いで「過小資本」が7件(構成比25.0%)となった。

地域別では、件数で我孫子市や県北西部、負債総額で山武郡と我孫子市が上位を占め、倒産形態では破産が21件、銀行取引停止処分が5件と続いた。

中小企業の資金環境を緩和させてきた「金融円滑化法」を活用しながらも経営に行き詰る企業も見え始めており、また民事再生法等による再建型の法的手続きを取る企業もあることから、県内の実体経済は厳しい状況が続くものと見られる。

(東京商工リサーチ・千葉県内企業倒産状況より)

本誌作成にあたってのデータ参照先

銚子市漁業協同組合
銚子商工会議所
株式会社 東京商工リサーチ
国土交通省 統計情報
社) 日本自動車販売協会連合会 千葉県支部
千葉トヨタ自動車 株式会社
ハローワーク銚子
ハローワーク茂原
ハローワークいすみ
ハローワーク成田
ハローワーク佐原
ハローワーク常陸鹿嶋
東京電力 株式会社 成田支社
(順不同)
※ その他掲載データは当金庫独自の調査によるものです。

発行；銚子信用金庫
編集；営業推進部
住所；〒288-8686 銚子市双葉町5-5
電話；0479-25-2121
FAX；0479-24-4591
E-mail；eisui@choshi-shinkin.co.jp
URL；http://www.choshi-shinkin.co.jp

ちょうしんきん ビジネス知恵袋のご案内

「取引先事業所の成長・発展」を目的に、経営コンサルティング企業の㈱タナベ経営とタイアップし、みなさまのビジネスを支える多彩な情報をインターネットを通じてご提供するサービスです。

【年会費】17,850円（うち消費税850円）

【ご入会】当金庫取引の有無は問いません。入会申込書は、お近くのちょうしんきん窓口またはご担当の営業担当者におたずねください。

経営情報レポート

業種別・機能別・経営テーマ別に分類。
改善事例や経営ノウハウなど総数2,000種類の経営情報をご提供。

法律アドバイスネット

法律に関するQ&A4,000種類。申請書・申告書記載例300件、根拠条文も閲覧可能。

ネット経営相談

企業経営に関するアドバイスネット。FAQを50件掲載。
あらゆる経営のお悩みをご相談ください。専門コンサルタント、法律・税務の専門家がメールでアドバイスいたします。

レポート・ネット

毎月配信するリーダーズ・レポートと地域版コンサル・レポートをご覧いただけます。

その他のコンテンツを含めて、全16の充実したコンテンツが満載！
みなさまのお申込みをお待ちしています。